

No.32 2006, Nov.

11 月・生神金光大神大祭号

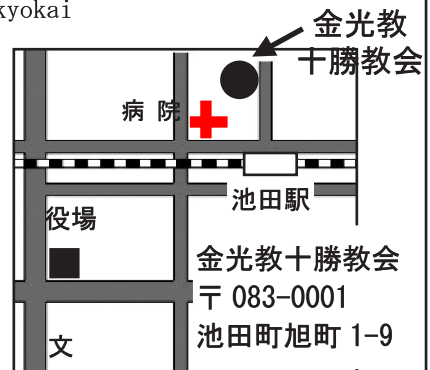
<http://city.hokkai.or.jp/~mtamaki/kyokai>

☎ 015-572-2322
fax 015-572-4213

十勝教会



だより 32



生神金光大神大祭は、教祖金光大神様の年祭と、教祖様がご神命のままに仕えておられた「金光大神祭り」の意義を頂くとともに、世界・人類救済のために「生神金光大神」を差し向けられた天地金乃神様のご神願と、永世生き通しの生神金光大神様の御取次をあらためて頂き、現代に生きる私たちがそのはたらきを現していくことを祈願する祭典です。

教祖金光大神様は、23歳から、次々とご家族を亡くされ、また、42歳の時には、ご自身が九死に一生という大患にかかられるなど、さまざまな難儀に出遭われましたが、そうしたなかにも、神様への真一心の信心を貫かれ、「神と人とあいよかけよで立ち行く」生き方を、はじめて人の世に現されました。そのお姿に接し、教祖様のもとに取次を頼む人が次々と訪れるようにな

いきがみこんこうだいじん
生神金光大神大祭をお迎えして

金光教十勝教会



立教聖場（岡山県浅口市金光町）
教祖様時代のお広前を復元したもの。

り、安政6年（1859）10月、「此方のように実意丁寧神信心いたしおる氏が、世間になんぼうも難儀な氏子あり、取次ぎ助けてやってくれ」との天地金乃神様のお頼みを受けられ、家業である農業をやめて、取次に専念されることになりました。

以来、教祖様は、参ってくる人々に対して、人の助かりをひたすら願われる天地金乃神様の信心を受け現していくことの大切さを教えられました。そのみ論しを受けて、取次に従う人々も生まれ、各地に出社広前ができ、お道が展開していくこととなりました。そのような教祖様のご信心に対して、明治元年（1868）9月に、神様から「生神金光大神」という神号が授けられ、さに、明治6年（1873）10月のご神伝によつて、教祖様は、難儀な世と人々を救い助けるために、神様から差し向けられたことが明確になりました。

そのなかにあつて、教祖様の置かれた状況は、時の政府の宗教政策によつてご神前を撤去させられるなど、大変厳しいものでした。しかし、教祖様は、起こつてくるすべてのことを修行として受けられ、神様とのあいよかけよの働き合いをいつそうに求めていかれました。

本教一切のよりどころとなる「天地書附」が定まり、「二心に願」^{ねがえ}「おかげは和賀心^{わがこころ}にあり」という信心のあり方が生まれたのも、神様と人間との間柄を伝える「ご理解」を中心とした救済のあり方が打ち立てられたのも、そうした過程のなかでのことです。

ご晩年の教祖様は、次第に肉体的な衰えが迫るな

かにあつて、「万国まで残りなく金光大神でき、おかげ知らせいたしてやる」とのお知らせにあるように、世界・人類の救済者としての使命をいよいよ確かにされることとなりました。

そして、明治16年（1883）9月、「人民のため、大願^{たいがん}の氏子助けるため、身代わりに神がさする、金光大神ひれいのため」とのお知らせを頂かれ、同年10月10日、かねて仕えておられた「金光大神祭り」の当日にご帰幽^{きゆう}になりました。このことによつて、永世生き通しの生神金光大神取次のはたらきが、時間や場所にとらわれることなく、世界中のあらゆる人々に開かれ、人が助かる道筋が定まったのです。

生神金光大神大祭をお迎えするに当たり、あらためてその尊いご生涯にお礼を申し上げるとともに、教祖伝『金光大神』をとおして、教祖様のご信心の内容をいつそうに頂いてまいりたいと存じます。そして、立教^{りっきよう}150年を目指して、教祖様ご立教の精神をあらためて頂き直し、共に教祖様が生涯をかけて求め現された「人を助けて神になる」との生神の道を、しっかりと受け継ぎ現してまいりたいと存じます。

（生神金光大神大祭をお迎えして」金光大教本部教庁より）

教会 日 誌

平成 18 年 8 月 10 日から

8 月 11 日 吉備舞練習会、十勝教会。網走教会参加。

8 月 16 日 教会創立記念祭ならびに布教功労者報徳祭執行。

8 月 20 日 歌志内市、Y 家、式年霊祭。

8 月 20 日 境内清掃奉仕、8 名参加。

8 月 24 日 札幌市、N 家、神霊舎奉斎式。

8 月 26 日 青年の集い「どさん子パーク」、岩見沢教会、衛先生参加。

8 月 26 日 池田町「ふれあい広場」、教会長夫妻出席。

9 月 9 日 帯広市、I 家式年霊祭。

9 月 10 日 夕張教会、二代教会長、初代教会長夫人式年霊祭。教会長祭主奉仕。

9 月 10 日 金光家先祖祭、みよ子先生参拝。



教会創立記念祭ならびに布教功労者報徳祭

十勝教会は今年で創立 86 年を迎えました。

- ・神前、霊前それぞれに祭詞を奏上される教会長（上左右）
- ・参拝者代表玉串奉奠（下左右）

9 月 12 日 函館教会手続き会「子道会」、函館東部教会、教会長夫妻出席。

9 月 13 日 函館教会布教記念祭ならびに二代教会長夫妻式年霊祭、教会長教話奉仕。

9 月 15 日 池田町、社会福祉事業協会、納車安全祈願祭。

9 月 16 日	北海道青年教師会研修会、深川市、衛生家族参加。
9 月 17 日	音更町、M 家、式年霊祭。
9 月 21 日	十勝地区東部四町身障者分会交流会、教会長出席。
9 月 23 日	秋季霊祭執行。
9 月 28 日	釧路市、O 家、式年霊祭。
9 月 29 日	池田町高齢者スポーツ大会、教会長出席。
10 月 1 日	札幌市、Y 家、新築上棟祭。
10 月 1 日	教会長、法務省より保護司永年勤続で表彰される。
10 月 6 日	北見市、I 家、式年霊祭。
10 月 7 日	北見教会布教 90 年記念祭修礼、千鶴子先生、みよ子先生、玉置るみさん参加。
10 月 9 日	吉備舞練習会、札幌東教会。みよ子先生講師。



上棟祭と地鎮祭

金光教の教祖様は住宅の建築を通して、天地金乃神様と巡り会われました。金光教は建築とゆかりの深い宗教です。



秋季霊祭
・参拝者玉串奉奠（上左右）
・祭典後は、霊祭恒例のお下がりの果物とおはぎでお直会。

10月11日	社会福祉協議会研修会、教会長参加。12日まで。
10月12日	池田町更生保護女性会研修会、千鶴子先生参加。
10月14日	帯広市、K家、地鎮祭。
10月15日	北見教会布教90年記念祭。千鶴子先生参列、みよ子先生、玉置るみさん吉備舞ご用。衛先生、五名参拝。
10月22日	釧路教会大祭。衛先生教話ご用。交流参拝。
10月25日	士幌町、M家、葬儀式。26日まで。
10月29日	網走教会大祭。交流参拝。
11月1日	士幌町、M家、旬日祭。
11月3日	夕張教会大祭。教会長祭主奉仕、教話ご用。
11月5日	帯広教会大祭。交流参拝。
11月5日	吉備舞練習会、十勝教会。菊川日生子さん（網走教会）参加。
11月5日	池田町、グループホーム起工祭。教会長参拝。
11月11日	士幌町、M家、旬日祭。
11月12日	大祭前大掃除、大祭打ち合わせ。
11月13日	函館教会大祭。衛先生参列。



北見教会布教 90 年記念大祭

ご祭典は矢代教会長先生、千鶴子先生をはじめ女性教師だけで仕えられました。吉備舞奉納は菊川日生子さんと玉置るみさん。



大祭前の大掃除

当日、天気予報では「雨から雪」でしたが、おかげをいただき作業時には雨も降ることがなく、外回りの清掃や、境内の雪囲い作業も無事に終わることができました。



大祭前ごとに行う、神前と玄関の照明カーバーの清掃。
カバーの中には光につられてきた大量の虫の死骸が…（右）

十勝教会これからの行事予定

薫別講社生神金光大神大祭	12 月 5 日 (火)	午前 11 時
越年感謝祭	12 月 31 日 (日)	午後 1 時 30 分
元 日 祭	平成 19 年 1 月 1 日 (月)	午後 1 時 30 分

教祖伝「金光大神」音読会のご案内

十勝教会では、毎月 21 日の月例祭終了後、教祖伝「金光大神」の音読会を行っています。「金光大神」の内容を参拝者全員で声に出して読む会です。単に読書をするだけではなく音読することで、本の内容の理解が深まり、また脳の老化防止にも効果があります。

参加は自由です。「金光大神」をお持ちでない方も気軽に参加してください。



道東地区青年交流会 (上左右)
「どさんこパーク」(右)

金光教道東地区教会連合会では、今年から道東地区在住の青年信奉者の交流を主とした「青年交流会」を開催しています。

また、北海道教務センターでは道内の青年信奉者の交流を願った「どさんこパーク」を毎年開催しています。

いずれも懇親を主とし、だれもが気軽に参加できるイベントです。来年も開催しますのでぜひ一度参加してみてください。道東地区青年交流会については「道東光報・第 17 号」をご覧ください。



道東地区青年交流会 (左右とも)
今年は、網走オホーツク公園オートキャンプ場を会場に開催されました。



どさんこパーク名物「羊の丸焼き」 15Kg !

先 祭員着席

次 拝 礼

次 神前拝詞奉唱

次 取次唱詞奉唱

次 祭主祭詞奏上

次 祭主玉串奉奠

次 天地書附奉体

次 参拝者代表玉串奉奠

次 金光大神賛仰詞奉唱

次 親神のよぎしのままに斉唱

次 拝 礼

次 祭員退下

次 吉備舞奉納

次 菊川日子子 玉置るみ

〇 立教神伝奉読

〇 教 話

金光教札幌東教会長

大代清雄先生

あいよかけよの生活運動

わが心の神に目ざめ

祈り、対話行動をもって

神を現す生活をすめ

共に助かる世界を生みだそう



KONKOKYO
金 光 教

♪親神のよぎしのままに♪

一、親神のよぎしのままに
わが生神
取次の
代々を経て
神からも
両方の
親神の
生神を
神のひれ
照り映えて
取次の
とこしえに
よぎしのままに
金光大神
道立ちしより
今につげり
氏子からも
恩人なりと
のらし給える
讃えまつらん
木綿崎山に
日の光なす
道の靈光を
仰ぎまつらん

食 後 訓

食物はみな人の命のために
天地乃神のつくり
与え給うものぞ
何を食うにも飲むにも
ありがたく頂く心を忘れなよ

食 前 訓

食物はみな人の命のために

天地乃神のつくり

与え給うものぞ

何を食うにも飲むにも

ありがたく頂く心を忘れなよ